

## 令和4年度 公立学校新規採用教職員辞令交付式 教育長訓辞

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、辞令交付式を中止いたしましたので、書面によりお届けします。

本日、島根県の教職員としての第一歩を踏み出されました皆様に心からお祝いを申し上げます。島根の将来を担う子どもたちの教育という重要な使命を自覚して、着実に歩みを進めていただきたいと思います。

さて、今、世界は新型コロナウイルスの大流行により大きな混乱の渦中にあります。また、ロシアのウクライナ侵攻により、世界全体の安全やエネルギー供給への不安もこれまでにないほど高まっています。さらに、人工知能（AI）などの先端技術が高度化するとともにグローバル化の進展、産業構造や雇用形態の変化も予想されます。今はまさに時代の転換期にあるとも言えます。教育の世界においても、これまで当然のことと考えられていた認識や価値観が大きくゆらぎ、その転換が求められています。

これからの教育は、このような複雑で予測困難な時代を念頭において考えなければなりません。その中で、子どもたちが持続可能な豊かな社会を創り上げていくためには、どのような仕事に就いても物事に対して根拠をもって筋道を立てて考える「論理的な思考力」が非常に重要な力となります。この論理的思考力を高めるためには、まず自分の考えをもち、自分の言葉で説明する、あるいは尋ねる、といった力が必要です。こういった行為が思考過程を整理し、理解を深め、次の問題への意欲を高めることに繋がっていきます。また、これからの時代は、言われた仕事を着実にこなすだけでなく、「こうなさい」と言われても、「こんなやり方もあるんじゃないか？」という発想や動き出す勇気、「みんなと話し合っこのようにやってみました。なぜなら・・・と考えるからです」というようなコミュニケーション力や表現力、そして協働する力が求められています。

今後、皆さんが、多くの授業や子どもたちとの関わりを通してこのような力を醸成することで、活力ある島根の基盤が築かれると信じています。

島根創生計画に掲げる「人づくり」は、島根に住む若者を増やし、その若者が生産や消費といった経済活動だけでなく、地域の活力の源になることを、そのゴールとしています。

今、小学校では「ふるさと教育」の中で、子どもたちが身近な地域を中心に、自然

や歴史・伝統、文化などを丁寧に調べ、それらに関わる体験活動を行っています。そして、中学校での「ふるさと教育」や高校での「地域課題解決型学習」では、地域にどんな課題があるのかを探り、自分が将来、地域にどのように貢献できるのかを、学校・家庭・地域が一体となって考え、具体的な取組につながる学習を行っています。皆さんも、赴任された学校において先輩教職員とともに地域の人と関わりを持ち、地域社会に貢献する島根の子どもたちを育てていってください。

その結果、島根を愛し、島根に住み続けたい、一旦県外に出ても島根に戻ってきたい、と思う若者がもっと増えていくものと思っています。また、ふるさと島根を学びの原点として、世界で活躍する若者が生まれることも期待しています。

もう一つ皆さんに伝えたいことがあります。私が学校教育で大切にしたいことの一つに、子どもの将来の選択肢を大きく広げることがあります。そのためには、小学校のときから、「わかる楽しさ」をもっと体験してほしい、理系、文系を問わずあらゆる分野において、本物に触れる体験を通して「すごい!」「なるほど!」といった学びの喜びを、次の学びへの動機付けにつなげてほしい、そう思っています。

このような学びを実現するためにも、授業の工夫はもとより、皆さんの指導や思いが子どもたちの心に響く人間関係づくりに力を注ぐことが大切です。信頼関係のないところでどんなに大事なことを言っても子どもたちの心には届きません。子どもたちの懐に飛び込み、家庭環境などの背景等にも思いを馳せ、確かな信頼関係を築くことが、先ほど述べた学びの土台となり、子どもたちの選択肢を広げ、将来の夢の実現に繋がると考えています。

最後に、教職員となる皆さんの健康管理についてです。

島根県教育委員会では、「教職員の働き方改革プラン」を策定し、学校現場で具体的な取組を行っています。私は、「教職員の皆さんの心身の健康を守り、働きやすい環境を整えることが、子どもたちに質の高い教育を提供する基盤である」と考えています。

一方で、「働き方改革」は「生き方改革」でもあると言えます。充実した人生を送るには、時間の長短だけでなく自らの生き甲斐をいかに見出して仕事に向かうか、ということも重要です。短時間であっても「やらされ感」があれば、充実した生活にはなりません。逆に、どのような仕事であっても、自分事として前向きに捉えていけば、それは充実感に繋がるのではないのでしょうか。ぜひ、「充実感」を感じられる生き方を探ってみてください。

結びに、皆さんは、これから県内の様々な地域で勤務を開始されることとなります。島根県全体をふるさとと捉え、ふるさと島根の教育を教職員全員のチーム力で担っていく、そのような気概を持ち続けていただきたいと願っています。

どうか健康にはくれぐれも留意され、自己研鑽に努めながら、これからの教職員生活で存分に力を発揮されることを期待しまして、訓辞といたします。

令和4年4月1日

島根県教育委員会教育長

野 津 建 二